

1. 2. 3. 4. 5.  
 い主 みひこ  
 のイエ座との  
 ちスより世  
 のがりのの  
 みわなみた  
 これが子び  
 とらるをじ  
 ばのるもを  
 こかいあた  
 のたのたた

世よ  
ええちえか  
 にのたい  
 くましめぬ  
 ださみいき  
 りばずして  
 かく悔くちと  
 わらやちこ  
 けきめなし  
 るやるるえ

こみこみの  
 こじこかい  
 ろをろみの  
 をもににち  
 うおゆか勝  
 るそるこち  
 おれしろう  
 しずをある  
 なああつた  
 がゆたくめ  
 るまうすに



それは、あなたがたが責められるところのない純真な者となり、曲った邪惡な時代のただ中であつて、傷のない神の子となるためである。あなたがたは、いのちの言葉を堅く持つて、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。